

# ある町の 天気相談所

Vol.68

2023.8.4

令和5年8月号



## 2023年の梅雨

今年の梅雨（関東甲信地方）は

梅雨入り 6月8日

梅雨明け 7月22日

の44日間となりました。梅雨の期間の総降水量は昨年より200ミリも多く6月を中心に雨が多くなり、梅雨の時期の後半は大気が不安定となり、短い時間に多くの雨が降ることが多くなりました。

## 2023年の梅雨の記録

梅雨入り 6月8日

平年より3日遅く、昨年より1日早い

梅雨明け 7月22日

平年より3日遅く、昨年より1日早い

梅雨の時期の日最大降水量

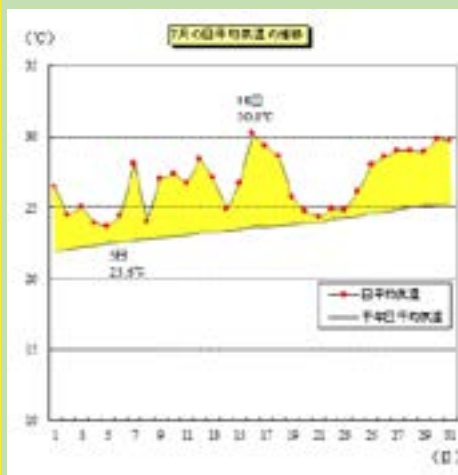
73.0ミリ（6月9日）

なお、6月2日に135.5ミリを観測していますが、梅雨入り前になります。

**梅雨の時期は秋に再検討されるため変更される可能性もあります。**

## 7月の気候

7月は、前線が南北に移動し、下旬からは太平洋高気圧に覆われるようになりまし。気温は平年より高い日が多く、月平均気温は26・8℃と平年よりかなり高く7月としては過去最も高くなりました。最高気温、最低気温の平均も7月として過去最も高く、最低気温が25℃以上の日数も9日と7月として最も多くなりました。にわか雨は多くなりましたが月合計降水量は82・5ミリと平年の52%。月合計日照時間は225・4時間と平年の166%でした。



## 一ヶ月予報（気象庁発表）

はじめ湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いですが、次第に太平洋高気圧に覆われやすくなるため、平年と同様に晴れの日が多い予想です。平均気温は「高い」降水量、日照時間は、「ほぼ平年並み」の見込みです。

## 熱中症になってしまったら

熱中症の症状は他の原因の場合もありますが、気温が高い時などは熱中症を疑って応急処置をしましょう。

熱中症が疑われる症状は「高い体温」「赤い・熱い・乾いた皮膚（全く汗をかかない、触るととても熱い）」「ズキンズキンする頭痛」「めまい、吐き気」「意識の障害」などがあります。

これらの症状がある場合は、涼しい場所へ避難し、服を緩め体を冷やしましょう。呼びかけにこたえられない場合は救急車を呼び、水分を自力でとれない場合は速やかに医療機関へ連れて行きましょう。

体を冷やす方法は、体中で太い静脈がある場所を冷やすのが効果的で、具体的には、首、腋の下、足の付け根に、保冷剤や氷、冷えたペットボトルなどをタオルでくるんで当てます。氷などがない場合は、濡れタオルを体に当て、うちわなどで風を当てる方法もあります。

### 水分の補給

冷たい水を持たせて、自分で飲んでもらいましょう。自分で飲めない場合は、気道に流れ込む可能性があるため、すぐに病院に連れて行く必要があります。

### 引用文献

熱中症環境保健マニュアル2022

環境省編

## 天気用語の基礎知識

### 低温注意報

低温により災害が発生する恐れがあると予想したときに発表される。具体的には、低温による農作物の被害や水道管の凍結や破裂による著しい被害の発生する恐れがあるとき。日立市においては、ほとんどが冬に発表されるが、農作物の被害が予想される際は、夏に発表されることもある。基準としては、夏は、最低気温15℃以下が2日以上継続、冬は、最低気温マイナス7℃以下が予想される場合である。低温については警報や特別警報はなく、注意報のみである。

### ・・・神峰の山から・・・

6月下旬から大気が不安定となりわか雨の日が多くなりました。日立市付近で雨雲が急に発達したりすることも多く、雷雨や局地的に短い時間ですが、激しい雨が降るようなことが多くなりました。一方梅雨明け後は比較的安定した日が続く、気温も30℃を超える日が続く、最低気温も25℃前後と高い日が多くなりました。にわか雨が降ると気温は下がりますが、今年にわか雨は激しい現象が多いので、雨が降った方がよいのか降らない方がよいのか迷うような天候でした。

気温も雨も極端にならないようにといつも願っているのですが・・・